

標識放流再捕記録からみた鹿児島湾産ブリ0-1歳魚の移動と成長

資源管理部 主任研究員 宍道弘敏

目的 ブリ若齢魚の移動と成長を把握し、関係漁業の振興、ブリ資源の評価・適正管理・持続的利用の推進に資する

材料と方法

①移動

- 供試魚：ブリ当歳魚（指宿沖定置）
- 標識種：ダートタグ2本
- 放流場所：指宿沖水深70mの海域

年月日	尾	FL (Min.~Max.) (cm)
2008.12.19.	589	39.6 (35.5~43.7)
2009.11.13.	700	36.1 (31.0~42.0)

②成長

- 誕生日を3月1日と仮定
- 放流・再捕時点の日齢を年齢に変換
- 成長の季節変化を考慮した成長式を当てはめ
- 他の研究例と比較

結果と考察

①移動

- 再捕率
 - 2008年群：30.9%
 - 2009年群：26.1%
 - (2011年2月7日現在)
- 両年群とも移動範囲は半径25マイル以内で他の事例に比べ狭い(図1)
- 2009年群は2008年群に比べ早期に湾口部~湾外へ移動する傾向

↓
年による行動の違いを誘発する環境要因が存在する可能性を示唆

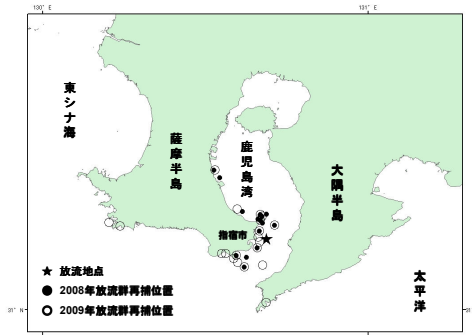


図1

②成長

- 以下のとおり成長式を推定(図2)
- この成長式は、
 - 夏~秋に大きく成長
 - 冬~春に成長が停滞
 という本種の成長様式をよく表す
- 当海域産ブリの満2歳までの成長は、太平洋側のブリの成長と大差なし

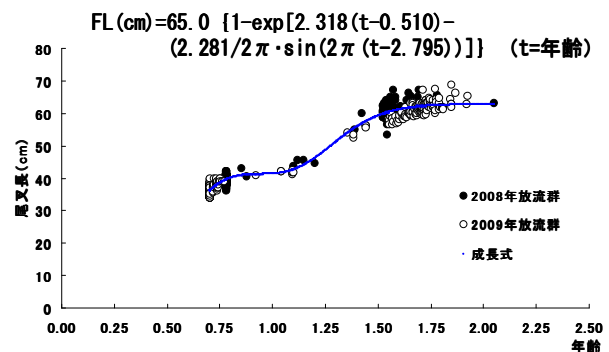


図2 標識放流再捕結果から推定した鹿児島湾産ブリ0-1歳魚の成長

今後の課題

①移動

- 2歳魚以降の移動回遊生態の解明
- 環境要因との関連の解明 (アーカイバルタグの利用)

②成長

- 脊椎骨等の年齢形質を用いた年齢査定
- 2歳魚以降の成長の把握